

中古車を選びに Audi正規ディーラーへ 行こう

新車保証期間(初度登録から3年間/走行距離無制限)が終了してから、新たに1年間/走行距離無制限の認定中古車保証をスタートさせるという

手厚いシステム内容を誇るアウディ認定中古車。

プレミアム・ハッチバックのA3からフラッグシップのA8、さらには個性的なルックスが人気の

TTシリーズなど、幅広いラインナップを誇っている。

ここではその2007年度最新情報と相場の日安について紹介していこう。



撮影協力：Audi Approved世田谷 Tel.03-5752-4455

Close-up! Audi認定中古車

昨年12月に、アウディ認定中古車“Audi Approved Automobile”の検索サイトがリニューアルされたのをご存知だろうか。同サイトは、全国の正規販売ネットワークの豊富なストックの中より希望のモデルを瞬時に探し出せることから、多くの層より支持されていたが、この度さらなるバージョンアップが図られた。その詳細についてアウディ・ジャパン 販売業務部 中古車課 林志峰さんに話を伺ったので紹介しよう。

「おかげさまで、アウディ認定中古車の認知度は大きく向上していて、新オーナーが続々と誕生しています。その多くの方は、弊社の検索サイトで希望の車両を探されたようです。そのため、さらなる内容の充実を進めたいと考えました」

今回のリニューアルでは、検索方法がよりわかりやすいものへと変更されたほか、写真などの情報量が増え、ローンのシミュレーションも速やかにこなせるようになった。

「若干の違いはありますが、ドイツ本国のサイトに準じた内容でデザインにしています。また新車を選ぶのと同じようにボディカラーやオプション装備にもこだわる方が少なくないので、各車両に装着されているオプションの正式名称と、その詳細についても確認していただけるようになりました。こうしたユーザーの視点に立った変更が

好評なのか、アクセス件数は約1.5倍に増えています」

そしてこのリニューアルに前後して、気に入ったクルマを最寄りの拠点で購入できる“全国共有在庫車両”の案内がスタートしたことも紹介しておきたい。

「これは全国どこでもアウディ認定中古車取扱い拠点でも購入できる車両を指します。まだまだ絶対的な数は少ないのが現状ですが、今後はもっと増やしていく予定です。このように今回はお客様にメリットの大きいリニューアルができたと自負しています。皆様のクルマ選びに是非ともご活用ください」

Text：佐藤貴昭/Photo：五条件好



Audi認定中古車オフィシャルサイト
<http://www.audiaaa.com/>

Audi認定中古車の概要

対象車両：

初度登録日から6年以内の車両/走行距離は9万km以内(ただし初度登録日から5年以内の場合は7万km以内)

保証期間：

1年間/走行距離無制限(新車保証終了後)
※保証書の内容に基づき、エンジンやトランスミッション、ブレーキ等の主要部品を含む全部品を車両登録後1年間、走行距離に関係なく保証する。新車保証期間が残存している車両は、新車保証が終了した後、あらためて1年間の認定中古車保証がスタートする。

保証内容：

ボディ内外装、消耗品及び油脂類を除く全部品を対象。

点検項目：

ステアリング機構、ブレーキ機構、クラッチ、トランスミッション、ダンパー、タイヤ、ドライブシャフト、ディファレンシャルなど駆動系、点火機構、バッテリー、電装系、エンジン、排気系、各種スイッチ類及び計器類等、計88項目を点検。

事前交換部品：

●無条件交換部品
エンジンオイル、オイルフィルター
※初度登録から1年超または走行距離1.5万km以上の車両はフレッシュエアフィルター、ワイパーブレードゴムを交換。さらに初度登録から2年超または走行距離3万km以上の車両はバッテリー、ブレーキフルード、エアクリナーエレメントが交換される。

●点検交換部品

エンジンクーラント、燃料フィルター、スパークプラグ、トランスミッションオイル、デフオイル、ファンベルト、タイミングベルトを点検結果により交換。



認定中古車ラインナップの中でも、
 アッパーミドルサルーンのA6、フラッグシップのA8、
 スポーティなブランドイメージの牽引役たる“S”は、
 安定した人気を誇っているという。
 その3モデルの最新情報について、
 前出のオーディ・ジャパン 中古車課 林志峰さんに話を聞いた。

Audi認定中古車 最前線

A8 Series



Audi approved世田谷 (Tel.03-5752-4455) で見つけた「A8 L 6.0 quattro」の認定中古車。初度登録は2005年12月で、走行距離は4700kmほど。価格は1050万円。



初代同様にアルミボディASF (オーディ・スペース・フレーム) を採用して大幅な軽量化が図られているオーディのフラッグシップ。日本には2003年10月より導入されているが、認定中古車の流通の中心は、2005年6月に行なわれたフェイスリフト後のシングルフレームグリルが与えられたモデルである。このシングルフレームグリルには、3.2ℓ V6の「3.2 FSI quattro」、4.2ℓ V8の「4.2 quattro/L 4.2 quattro」、4.2ℓ FSIユニットを搭載する「4.2 FSI quattro/L 4.2 FSI quattro」、6ℓ W12の「6.0 quattro/L 6.0 quattro」が設定されているが、ロングボディのLと12気筒はとも希少で、V8モデルの比率が高い。右ハンドルモデルの人気が高いという。

A6 Series



2004年9月から上陸の始まった現行型A6。現在のオーディのチャレンジングな企業姿勢を表す“シングルフレームグリル”を最初に採用したモデルで、4バルブの2.4ℓ V6ユニット(最大出力:177ps/6000rpm、最大トルク:23.4mkg/3000~5000rpm)にマルチロニックを組み合わせたFWDの「2.4」、V6 3.2ℓ エンジン(最大出力:255ps/6500rpm、最大トルク:33.6mkg/3250rpm)に6段ATを組み合わせたフルタイム4WDの「3.2 FSI quattro」、4.2ℓ V8(最大出力:335ps/6600rpm、最大トルク:42.8mkg/3500rpm)を搭載する「4.2 quattro」の計3タイプのセダンと、2005年6月に登場したステーションワゴンの「Avant 2.4」、「Avant 3.2 FSI quattro」、「Avant 4.2 quattro」が選べる。

人気は3.2 FSI quattroに集中しているが、セダンよりも数の少ないアバント(セダンとアバントの流通量比率は7:3)の引き合いが目立っている。セダン/アバントともにA3やA4に比べ絶対的に流通量は少なめ。しかし間もなく、上陸直後の車両が初回車検を迎えるので、タマ数は増加していくと予想できる。

S / RS Models



「A8 L 6.0 quattro」と同じく、Audi approved世田谷 (Tel.03-5752-4455) で見つけた「S4 Avant」。走行距離は1.6万kmで、車検が2008年4月まで付いて、価格は620万円。



メルセデス・ベンツのAMGやBMWのMと肩を並べるスペシャルな存在のS/RSモデル。先代A3をベースとするS3から、5.2ℓ V10(最大出力:450ps/7000rpm、最大トルク:55.1mkg/3000~4000rpm)を搭載するS8まで用意されているが、どのモデルもタマ数は極めて少ない。しかし専用設計の4.2ℓ V8(最大出力:344ps/7000rpm、最大トルク:41.8mkg/3500rpm)を搭載する先代(2003年9月デビュー)と現行型(2005年2月デビュー)の「S4」、「S4 Avant」は、その中であって健闘しており、認定中古車として目にする機会も少なくない。

オーディ信者から支持されている一方、ハイパフォーマンスカーに興味のある運転好きからも注目されている。